



広野駅に童謡の メロディーが 流れる

3月17日(月)



広野町では、JR東日本水戸支社の協力により、広野駅の発車ベルを「とんぼのめがね」と「汽車」にメロディー化しました。

町は、童謡「とんぼのめがね」、唱歌「汽車」との関わりが深く平成6年度からは童謡の里づくり事業に取り組み、毎年「ひろの童謡まつり」を開催してきました。今回は、その一環として町のPRとイメージアップを図ろうとメロディー化しました。上り「とんぼのめがね」、下り「汽車」のメロディーとなっています。

メロディー化された17日にあわせ記念式典が開かれました。式では、山田町長があいさつし、佐藤JR東日本いわき駅長、坂本町議会議長が祝辞を述べ、特急「スーパーひたち7号」の到着にあわせ広野保育所の園児が「汽車」を合唱し、町長ら関係者がくす玉を割り乗客を出迎えました。乗客には無料で広野産小麦100%のうどんが配られました。

